

科目名			医学概論特論		
科目責任者			藤野 昭宏 (医学概論 教授)		
開講時期:	1年次後期	単位数:	4 単位	時間数:	90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産業衛生学の基礎となる労働衛生の歴史的展開と現在の産業保健システムにおける倫理的諸問題の分析及び具体的な解決アプローチ方法について、医学概論(生命倫理学・医療人類学)の基礎理論とその科学的応用を学ぶことによって理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 産業衛生学の起源と近代までの展開について概説できる。</li> <li>2) 産業衛生学の現代における発展と課題について説明できる。</li> <li>3) 産業衛生学及び医療人類学の調査方法について説明できる。</li> <li>4) 医療資源の配分の基礎理論とその応用について説明できる。</li> <li>5) 医学概論(生命倫理学・医療人類学)の基礎理論とその科学的応用について説明できる。</li> <li>6) 医学概論(生命倫理学・医療人類学)を応用した産業保健政策のあり方について説明できる。</li> <li>7) 国際産業保健学会(ICOH)の倫理コードを解説できる。</li> <li>8) 英国王立産業医学協会の倫理ガイドラインを解説できる。</li> <li>9) 臨床研究における倫理指針、疫学研究における倫理指針などについて説明できる。</li> <li>10) 産業医学研究と倫理審査委員会について説明できる。</li> <li>11) 企業等のフィールド調査研究の倫理的要点について説明できる。</li> <li>12) 動物を用いた曝露実験研究の倫理的要点について説明できる。</li> <li>13) 日本の産業保健政策・制度について説明できる。</li> <li>14) 産業保健政策・制度の国際比較について説明できる。</li> <li>15) 企業の社会的責任としての産業保健倫理について説明できる。</li> </ol>					
● 評価方法	討議への参加度40%、プレゼンテーション内容40%、課題レポート20%で総合評価する。				
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。				

● 授業スケジュール

回	項目	内容	担当教員
1・2	産業衛生学の歴史 I	産業衛生学の起源と近代までの展開	藤野
3・4	産業衛生学の歴史 II	産業衛生学の現代における発展	藤野
5・6	生命倫理学の基礎 I	生命倫理学・医療人類学の基礎理論	藤野
7・8	生命倫理学の基礎 II	生命倫理学における医療資源の配分	藤野
9・10	産業保健と生命倫理 I	生命倫理を基礎とした産業保健政策のあり方	藤野
11・12	産業保健と生命倫理 II	生命倫理を応用した産業保健政策のあり方	藤野
13・14	産業保健の国際倫理 I	国際産業保健学会の倫理コード	藤野
15・16	産業保健の国際倫理 II	英国の王立産業医学協会の倫理指針	藤野
17・18	産業医学研究の倫理 I	臨床研究倫理指針、疫学研究倫理指針等	藤野
19・20	産業医学研究の倫理 II	産業医学研究と倫理審査委員会	藤野
21・22	疫学研究と倫理	企業等のフィールド調査研究の倫理	藤野
23・24	曝露実験研究と倫理	動物を用いた曝露実験研究の倫理	藤野
25・26	産業保健政策・制度	産業保健政策・制度の国際比較	藤野
27・28	企業の倫理と産業保健	企業の社会的責任としての産業保健倫理	藤野
29・30	課題発表	産業衛生学における生命倫理学と関係する内容の学習成果を発表する	藤野